

てんかん重積状態

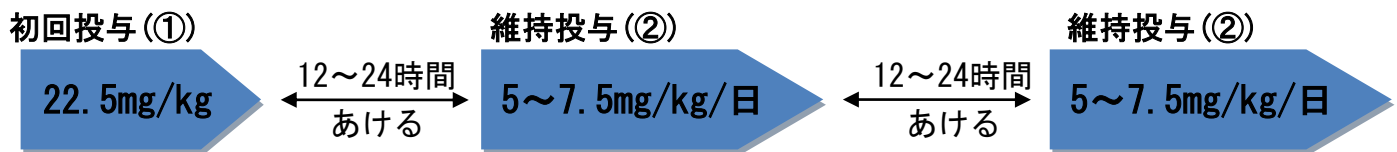
2014. 12. 20 県連薬事委員会

- みどり病院の重積発作時の対応は、日本神経学会の「てんかん治療ガイドライン2010（追補版を含む）第8章てんかん重積状態」を基本とする（次ページ）。

- ダイアップ坐剤の使用

日本神経学会のてんかん治療ガイドライン2010に「ジアゼパム坐薬は速効性がなく、目前のけいれんの抑制には無効のことが多い」と記載あること、近年使用されない傾向にあることより、原則使用しない。

- てんかん重積状態における ホストイン静注の用法・用量



- ①初回投与：投与速度は3mg/kg/分 又は 150mg/分のいずれか低い方を超えない。
- ②維持投与：投与速度は1mg/kg/分 又は 75mg/分のいずれか低い方を超えない。
(急速静注した場合、心停止、一過性の血圧低下、呼吸抑制等の循環・呼吸障害を起こすことがあるので、投与速度には注意する。)

早見表(別表)で確認するか、ホームページの「体重別投与量計算シート」で自動計算する。

禁忌：洞性徐脈、高度の刺激伝導障害のある患者〔心停止を起こすことがある。〕